

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 2 年度事業計画

I 令和2年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年4月に設立以来、設立目的である個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、各種の文化事業を実施してきました。また、平成26年度からは、愛知芸術文化センター（以下「芸文センター」という。）の指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）の運営等に携わってきました。

令和2年度においては、令和2年3月策定の「愛知県芸術劇場第2次中長期計画」に基づき、まず、運営にあたっては、愛知県と密に連携をとりながら、常にお客様・ご利用者様の目線に立ち、安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上に努め、さらなる利用促進を図って、県民の皆様が芸術文化を一層楽しんでいただけるよう努めます。

次に、自主事業の展開にあっても、同中長期計画及び文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、ホールの特性を活かし、創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、「劇場と子ども7万人プロジェクト」として次代を担う子どもたちに劇場の楽しさに触れてもらう普及啓発などに取り組みます。また、市町村劇場との連携による「県内ツアー公演」や、地域の商業施設・観光施設と連携する「久屋ぐるっとアート」などを展開し地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来づらいう方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取り組みを実施いたします。

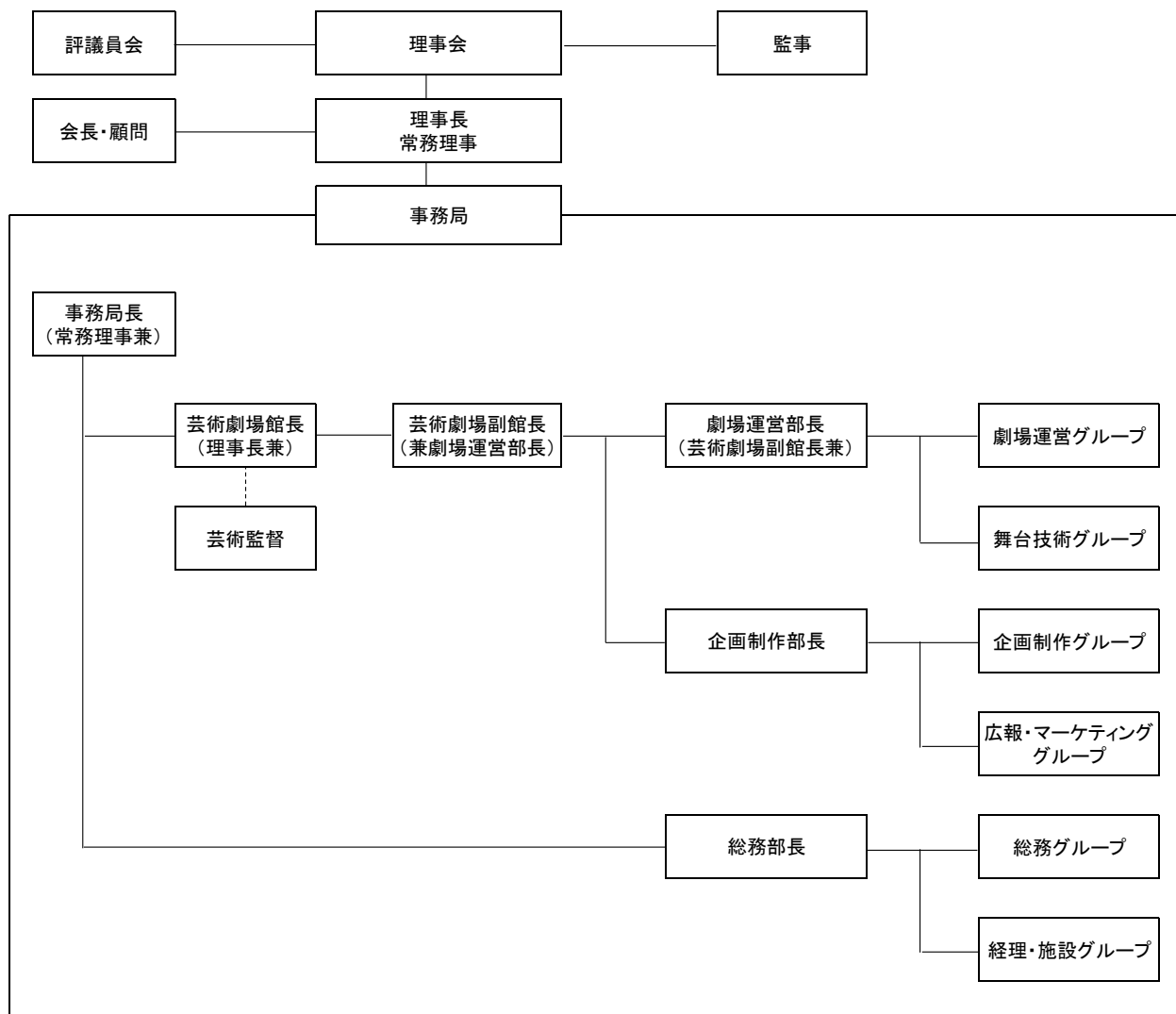
さらに、令和2年4月よりダンサー・振付家・演出家として国際的に活躍し、国内外からの高い評価を得ている勅使川原三郎氏を芸術監督として迎え、今後の劇場主催事業等の質の向上や情報発信に努めてまいります。

また、令和2年3月31日をもって丹羽芸術劇場館長が退任することに伴い、令和2年4月より理事長が館長を兼務するとともに、芸術劇場副館長を新設する等、組織体制の見直しを行います。新しい組織体制のもとで、より一層文化振興に尽力してまいります。

これまで、当事業団が実施する各自主事業公演につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいているところですが、令和2年度より、賛助会員制度を立ち上げ、賛助会員の募集を開始いたします。今後、文化振興を通じての地元企業様等との関係強化を図るとともに、本県の文化芸術のさらなる創造・発信につなげてまいります。

●組織体制

(1) 令和2年度組織体制



(2) 職員数

常勤役員	2名
職員	34名
嘱託員	10名
計	46名

Ⅱ 公益目的事業

芸術文化の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営や、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開します。また、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、催事室（アートスペース）・アートプラザの管理運営及び愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行います。

1 芸術劇場の管理運営

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

<愛知県芸術劇場>

- 大ホール（2,480席）
- コンサートホール（1,800席）
- 小ホール（330席（最大））
- 大リハーサル室
- 中リハーサル室

2 自主事業の企画制作

全国16館の文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供します。令和元年度に引き続き、夏季や秋季に事業を集中的に開催する「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」及び小ホールにおいて先駆的・実験的な作品を通年で上演する「ミニセレ」を柱に自主事業を実施し、愛知県の芸術文化の振興を図っていきます。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図ります。

1 公演事業

各ホールにおいて夏季及び秋季にそれぞれ集中開催する「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」と、小ホールにおいて開催する「ミニセレ」を柱にラインナップを構成します。音楽、舞踊、演劇を軸に、領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組んでいきます。

(1)ファミリー・プログラム

夏休みに開催する、家族のためのフェスティバルです。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にします。



事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
げきじょうたんけんツアー	7月22日(水) (4回)	大ホール
	小学校低学年を対象にして、劇場運営スタッフ扮する探検隊と一緒に大ホールの裏側をめぐるツアーを行います。普段は見るできない劇場の裏側を見学できる体験学習です。	
THE オルガン NIGHT&DAY 2020 出演：勝山雅世	7月29日(水) 30日(木) (3公演)	コンサートホール
	「短めのプログラム」「出かけやすい時間」「ワンコイン」と“手軽さ”を追求したパイプオルガンコンサートです。大人向けのNIGHTではオルガンの耳より講座を、小学生を含めた家族向けのDAYではオルガン見学会を終演後に開催します。	
『えんどうまめとおひめさま』 愛知県芸術劇場公演＋愛知県内ツアー 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー (各市町村劇場と共催)	7月26日(日) ～28日(火) (当劇場6公演) 7月29日(水) ～8月22日(土) (県内ツアー8カ所)	小ホール、 県内劇場
	アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンスと演劇を横断するパフォーマンス公演です。世界で活躍するノルウェーのダンス・カンパニーが当劇場含めて県内9か所で上演します。	
『よちよちのへや』 愛知県芸術劇場公演＋愛知県内ツアー 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー (各市町村劇場と共催)	8月(回数未定)	大リハーサル室、 県内劇場
	ノルウェーのダンス・カンパニー、ディブウィク・ダンスカンパニーによる、乳幼児向けのパフォーマンス。当劇場含めて県内2カ所で上演します。	
チェコ・アルファ劇場『快傑ゾロ』 製作・出演：アルファ劇場 (特定非営利活動法人愛知人形劇センター、 一般財団法人ちりゅう芸術創造協会と共催)	8月5日(水)、 8月19日(水) (回数未定)	小ホール、パティオ 池鮎鯉
	チェコの伝統的なマリオネット80体以上が繰り広げる人形劇。テント小屋型の舞台美術で、ギターほかによる生演奏付きで上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
日生劇場ファミリーフェスティバル 2020 物語付きクラシックコンサート『アラジンと魔法の音楽会』 指揮：大井剛史 出演：加来徹、小関明久、万里紗 ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ （ニッセイ文化振興財団と共催）	8月20日(木) (1公演)	大ホール
	日生劇場が制作する、毎年大人気のクラシック音楽コンサートシリーズです。個性豊かなキャラクターたちと一緒に、フルオーケストラの演奏やユニークなお芝居を家族全員でお楽しみいただけます。	
赤ちゃんと踊ろう（ママ編・パパ編） ファシリテーター：プロジェクト大山	7月（回数未定）	未定
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流もできるダンス・ワークショップを実施します。	
キッズ・ダンスワークショップ(仮称) ファシリテーター：プロジェクト大山	7月（回数未定）	未定
	小学校高学年の児童を対象としたダンス・ワークショップを行います。	
8事業		

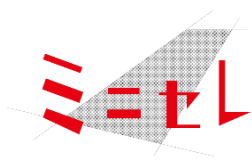


(2) 愛知芸文フェス

愛知芸術文化センターが開館した10月30日前後を祝祭期間とし、海外アーティストの招聘も含め、質の高い舞台芸術公演を集中的に上演します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
ダンス・セレクション 出演：未定	10月3日(土) (1公演)	小ホール
	過去に国内外で上演された作品の中から、当事業団のプロデューサーが選び抜いた気鋭のダンサー・振付家たちの作品をオムニバス形式で上演します。また、出演者を講師に観客との意見交換会やワークショップ等を開催します。	
名古屋二期会 創立50周年記念 定期オペラ公演 歌劇『魔笛』 指揮：飯守泰次郎 演出：伊藤明子 合唱：名古屋二期会合唱団 管弦楽：名古屋二期会オペラ管弦楽団 （一般社団法人名古屋二期会と共催）	10月3日(土) 4日(日) (2公演)	大ホール
	名古屋二期会との共催で、「私は鳥刺し」や「夜の女王のアリア」などの名曲が登場する、モーツァルトの最高傑作として世界中で親しまれている人気作を上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
ダンス&音楽コラボレーション公演(仮称) 出演：未定	10月 (回数未定)	小ホール
	「音」と「身体」の融合に着目した、ダンサーと音楽家によるコラボレーション・パフォーマンス公演を行います。	
オルガン・スペシャルコンサート ～デイヴィッド・ティッターリントン 出演：デイヴィッド・ティッターリントン	10月23日(金) (1公演)	コンサートホール
	ベルリン交響楽団や BBC 交響楽団など世界中のオーケストラと共演を重ねる英国のオルガニストが、自国をテーマにしたプログラムを披露します。	
栄北まちなか展開連携事業 『久屋ぐるっとアート 2020』	11月上旬	オアシス 21 ほか
	オアシス 21 や名古屋テレビ塔など、栄北地域の約 20 の文化施設や商業施設等と連携し、アートを気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催します。音楽、ダンス、美術、映画、グルメ等を気軽に“ぐるっと”楽しめます。	
第 18 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『朽ちた蔓延る』 作：山内晶 演出：篠田千明	11月7日(土) ～9日(月) (回数未定)	小ホール
	第 18 回 AAF 戯曲賞受賞作品を上演します。架空の遺跡で、日本人観光客や歴史学者の妻、かつて遺跡を築いた王など、時代や立場が錯綜する人物たちが各々の視点で独白する物語を舞台化します。	
愛知県立芸術大学管弦楽団 第 31 回定期演奏会 指揮：ユベール・スダーン 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 (愛知県立芸術大学と共催)	11月27日(金) (1公演)	コンサートホール
	東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催します。指揮はメルボルン交響楽団首席指揮者をはじめヨーロッパ各地のオーケストラで活躍し現在は東京交響楽団の桂冠指揮者を務めるユベール・スダーンです。	
【勅使川原三郎 芸術監督就任記念シリーズ】 『調べー笙とダンスによる』 ダンス：勅使川原三郎、佐東利穂子 笙：宮田まゆみ	12月4日(金) ～6日(日) (3公演)	小ホール
	芸術監督の勅使川原三郎によるダンス公演です。「言葉と音楽とダンス」をテーマに、2018年東京・両国シアターXで初演され話題を呼んだ作品を公演します。	
8 事業		



(3)ミニセレ —Mini Theater Selection—

現代音楽、コンテンポラリーダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演します。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新しい劇場ファン層をさらに広げます。

事業名	開催日 (公演数)	会場
	事業概要	
中川賢一・野村誠ピアノ・コンサート 『愛と知のメシアン!!』	4月12日(日) (1公演)	小ホール
	ピアニスト、指揮者、音楽監督など変幻自在の音楽家として国際的に活躍する中川賢一と、名古屋出身の作曲家・野村誠によるコンサートを上演します。	
トライアド・ダンス・プロジェクト 安藤洋子×酒井はな×中村恩恵 『ダンスの系譜学』 (ダンス・ベース・ヨコハマと共催)	5月15日(金) ～17日(日) (3公演)	小ホール
	日本のダンス界を牽引する3人の女性ダンス・アーティストによる特別公演を行います。安藤洋子、酒井はな、中村恩恵らが出演する旧作から新作までのプログラムを通してダンスの歴史を紐解きます。	
【勅使川原三郎 芸術監督就任記念シリーズ】 『白痴』 構成・照明・衣装・選曲：勅使川原三郎 ダンス：勅使川原三郎、佐東利穂子	7月17日(金) ～19日(日) (3公演)	小ホール
	芸術監督の勅使川原三郎によるダンス公演です。パリ・シャイヨー劇場をはじめ、ヨーロッパでの公演を重ねた本作を、小ホールで上演します。ドストエフスキーの同名小説を下敷きに、人間の奥底に潜む愛や葛藤、欲望など深い精神世界を描きます。	
【再掲】ダンス・セレクション 出演：未定	10月3日(土) (1公演)	小ホール
【再掲】 ダンス&音楽コラボレーション公演(仮称) 出演：未定	10月(回数未定)	小ホール
【再掲】第18回AAF 戯曲賞受賞記念公演 『朽ちた蔓延る』 作：山内晶 演出：篠田千明	11月7日(土) ～9日(月) (3公演)	小ホール

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
【再掲】 【勅使川原三郎 芸術監督就任記念シリーズ】 『調べー笙とダンスによる』 ダンス：勅使川原三郎、佐東利穂子 笙：宮田まゆみ	12月4日(金) ～6日(日) (1公演)	小ホール
地点×空間現代『グッド・バイ』 作：太宰治 演出：三浦基 音楽：空間現代 (地点と共催)	12月(回数未定)	小ホール
	太宰治の遺作である未完の小説『グッド・バイ』をモチーフにした演劇を上演します。太宰が敗戦から死までの間に書いた小説を劇団「地点」が舞台化した作品です。音楽は、話題のスリーピースバンド「空間現代」が務めます。	
【勅使川原三郎 芸術監督就任記念シリーズ】 勅使川原三郎新作ダンス公演	2月21日(日) ～23日(火・祝) (3公演)	小ホール
	芸術監督勅使川原三郎の新作ダンス公演です。これまで当劇場で『NOIJECT』(1993年)をはじめ、あいちトリエンナーレ2016プロデュースオペラ『魔笛』等を手掛けてきた同氏が、当劇場芸術監督として初の創作を行い、世界初演の作品を披露します。	
9事業（うち再掲4事業）		

(4) その他の公演

3つのホール等を活用し、愛知県芸術劇場ならではのダンス公演、オペラ公演などを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
オルガン・レクチャーコンサート 出演・解説：三浦はつみ	4月3日(金) (1公演)	コンサートホール
	映像と解説を交えた初心者向けのコンサートです。横浜みなとみらいホールで1998年の開館以来ホールオルガニストを務める三浦はつみが、オルガンの歴史を紐解きながら演奏します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
『小さな島とエヴァ』県外ツアー 制作・出演：テラッピン・パペットシアター 出演：川上珠来 (各劇場と共催)	5月（回数未定）	四日市
		津
		東京
		茨木
	2018年に愛知県内8か所をツアーし、多くの家族に鑑賞いただいたビジュアル朗読劇を、県外4か所でツアー公演します。言葉や習慣の違い、環境問題をテーマとしたオーストラリアのカンパニーの本作は、多様な価値観に興味をもっていただけきっかけとなる公演です。	
W. A. モーツァルト作曲 オペラ 『バスティアンとバスティエンヌ』 指揮：角田鋼亮 出演：伊藤晴、柴田紗貴子 ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ	6月14日(日) (2公演)	小ホール
	モーツァルトが12歳で作曲したオペラで、2018年の公演ではオペラファンから初めてオペラを鑑賞された方まで多くの方にご高評いただきました。指揮は愛知出身の角田鋼亮が、出演は三重出身の伊藤晴(ソプラノ)などの若手実力派ソリストが務めます。	
新国立劇場バレエ団『不思議の国のアリス』 振付：クリストファー・ウィールドン 出演：米沢唯、小野絢子 ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 制作：新国立劇場バレエ団、オーストラリア・バレエ	6月20日(土) 21日(日) (2公演)	大ホール
	世界中で愛されている名作を題材にしたバレエ作品です。新国立劇場バレエ団でプリンシパルを務める愛知出身の米沢唯をはじめ、70余名の将来を囑望されるダンサーたちが、エンターテインメント性と芸術性を兼ね備えた世界を披露します。	
海外招聘ダンス公演 『Two Feet』	9月18日(金) 19日(土) (2公演)	大ホール
	海外著名ダンサー/カンパニーの招聘公演として、ピナ・バウシュのヴッパダール舞踊団で活躍したオーストラリアのダンサー・振付家タンカードが、英国ロイヤルバレエ団プリンシパル、ナタリア・オシボワに振付けた作品を上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
クリスマスはオルガンだ！2020 出演：都築由理江 （愛知県芸術劇場オルガニスト） ほか	12月23日(水) (1公演)	コンサートホール
	恒例のクリスマス・オルガンコンサート。毎年同時期に開催し、他楽器との共演や演奏者の手元・足元を大型スクリーンに投影する演出が人気を集めています。劇場オルガニストの都築由理江がこの季節にちなんだ楽曲を演奏します。	
NHK 交響楽団定期演奏会(愛知県芸術劇場シリーズ) 指揮：トゥガン・ソヒエフ 管弦楽：NHK 交響楽団 （NHK 名古屋放送局と共催（予定））	1月31日(日) (1公演)	コンサートホール
	世界でトップレベルのオーケストラが行う定期演奏会です。指揮は2015/16年シーズンまでベルリン・ドイツ交響楽団の音楽監督を務めたトゥガン・ソヒエフで、当劇場定期演奏会に約6年ぶりに登場します。	
オイリーカート×愛知県芸術劇場共同企画 『ジャンボリー』+県内ツアー （各市町村劇場と共催）	1月 (当劇場は1公演)	小ホール 県内劇場
	イギリスで30年以上にわたり活動する劇団の招聘公演です。劇団が長年培ってきたバリアフリーのノウハウを活かし、障がいの有無にかかわらず楽しめる体験型のパフォーマンスを披露します。当劇場含めて県内3か所で上演します。	
藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』 指揮：セスト・クワトリーニ 演出：岩田達宗 （公益財団法人日本オペラ振興会と共催）	2月6日(土) (1公演)	大ホール
	日本で最も歴史のあるオペラ団体藤原歌劇団により、2017『カルメン』、2018『ナヴェラの娘/道化師』、2019『リゴレット』に続き、イタリアの作曲家プッチーニの人気オペラ『ラ・ボエーム』を共催で上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
国際共同製作プロジェクト ライブ・パフォーマンス『ON VIEW : Panorama』 香港・シドニー公演 （各劇場と共催）	時期未定 （各3公演）	①香港ウェストカ オールン文化地区 ②パフォーマンス・ スペース・シドニー
	2019年度に当劇場と横浜赤レンガ倉庫、香港ウェストカオールン文化地区、パフォーマンス・スペース・シドニー、及びスー・ヒーリーの5者で共同製作した公演の香港、シドニー公演を行い、ダンサー等を派遣します。	
10 事業		

2 人材養成事業

若手芸術家に活動発表の場を提供するほか、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップからアーティスト養成まで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
第20回AAF 戯曲賞募集・選考	募集開始：6月 最終審査会：12月（予定）	小ホール（予定）
	2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。	
愛公文セミナー （愛知県公立文化施設協議会と共催）	5月15日（金） 7月29日（水） 11月12日（水） （3回）	アート スペースA
	ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催します。	
【アーティスト人材養成プログラム】 ①合唱団養成プログラム：愛知県芸術劇場合唱団 訓練 ②オルガニスト養成プログラム ③振付家・ダンサー養成プログラム ④舞台芸術ワークショップファシリテーター養成 プログラム	通年実施	コンサート ホールほか
	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを実施します。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
【舞台芸術人材養成ラボ】 ①舞台芸術インターン ②学生インターン&お仕事ナビ ③劇場職員セミナー ④舞台芸術創造セミナー ⑤コーディネーターセミナー	通年実施	大ホールほか
	人材養成プログラムを系統立てて実施します。	
4 事業		

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他劇場との連携で実施します。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
【劇場と子ども7万人プロジェクト】 愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2020 『小さな島とエヴァ』 制作・出演：テラッピン・パペットシアター 出演：川上珠来 ほか （各市ほかと共催）	①5月8日（金） ②5月22日（金） ③5月27日（水） （各1公演）	①新城市 ②北名古屋市 ③西尾市
	言葉や習慣の違い、環境問題をテーマにしたオーストラリアの朗読劇です。2018年に県内8か所をツアーし、多くの家族に鑑賞いただいた当公演に、新城市、北名古屋市、西尾市の小学生を招待します。	
【劇場と子ども7万人プロジェクト】 愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 W. A. モーツァルト作曲 オペラ 『バ스티アンとバスティエンヌ』 （碧南市教育委員会と共催）	6月19日（金） （1公演）	碧南市芸術文化ホールエメラルドホール
	オペラの公演に、碧南市の中学生約700人を招待します。音楽に加え演劇、美術、衣裳、照明などの要素が詰まった総合芸術と呼ばれるオペラを通して、感受性や想像力の育成につなげます。	
【劇場と子ども7万人プロジェクト】 愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 ニッセイ名作シリーズ 2020 ロッシーニ作曲 オペラ 『セビリアの理髪師』 （ニッセイ文化振興財団と共催）	12月3日（木） （1公演）	大ホール
	19世紀初頭を代表する音楽家ロッシーニ作曲のオペラ公演に、県内の中学生・高校生を招待します。本公演を通して感受性や想像力の育成を図ります。また物語はモーツァルト作曲のオペラ『フィガロの結婚』に続くため、今後オペラを観る機会の拡充にもつなげます。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
【高校生 ゲネプロ招待】 第18回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『朽ちた蔓延 ^{はびこ} る』 藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』 ほか	各公演日	小ホールほか
	舞台鑑賞の楽しみや創造することの面白さを知っていただくために、ゲネプロ（本番同様の最終リハーサル）に、高校生を無料で招待します。	
【乳幼児と保護者のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと踊ろう」（仮称）	時期未定	未定
	小さなお子様と一緒にダンスを楽しむ機会を市町村劇場等と連携して設けます。	
【入門者のためのプログラム】 カフェトーク 教えてティー・チャー！ ほか	通年実施	アートプラザほか
	劇場に初めて来る方などにも舞台芸術に楽しみを見出していただけの講座、ワークショップ等を開催します。	
【より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム】 鑑賞&レビュー講座 勅使川原三郎ドローイング展示（仮称） ほか	通年実施	アートプラザほか
	舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座、ワークショップ等を開催します。	
【障がい者及び劇場に来づらい人のためのプログラム】 聴覚障がいのある方への日本語字幕 視覚障がいのある方へのコンサートの事前説明 ほか	各公演日	大ホールほか
	多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のための特別プログラムを実施します。	
【在住外国人のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 （仮称） （愛知県ほかと共催（予定）） ほか	時期未定	市町村劇場等
	日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しむ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、赤ちゃんと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
9 事業		

3 愛知芸術文化センターの管理運営等

指定管理者として、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、アートプラザやアトスペースの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供します。

また、利用者の安全確保を第一に考えた防火・防災体制の強化や、安心して利用していただける施設環境の整備にも努めます。

1 広報・マーケティング

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報誌「AAC」やウェブサイト、SNSなどの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○ 情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報誌を発行し、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等
年4回発行（ウェブ版を含む）

○ 情報発信

ウェブサイトをはじめとして、Facebook・TwitterなどのSNS、YouTubeといった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

(4) 賛助会員制度

文化振興を通じて、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、賛助会員制度を新設します。愛知県芸術劇場が主催する事業について支援をいただくもので、「芸術文化事業支援」、「芸術監督公演支援」、「プログラム別支援」、「公演別支援」の4メニューから賛助する内容を決めることができます。このうち、「プログラム別支援」は、「ファミリー・プログラム」、「普及啓発事業（7万人プロジェクト、その他の普及啓発）」、「人材養成事業（アーティスト人材養成、スタッフ人材養成、アートマネジメント人材養成）」と、より具体的な賛助プログラムを選ぶことができます。令和3年度事業から活用できるよう準備を進めます。

2 アートプラザの運営

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 アートスペースの運営

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについて、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

4 施設管理・防災

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を順守するとともに、引き続き防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ります。

5 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 地域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形で劇場間の連携を深めていきます。

Ⅲ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 アートショップ（芸文センター地下2階）

株式会社マイブックサービスに運営を委託し、芸術関連の書籍やグッズなど文化芸術に関連する商品の販売を行います。

3 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、株式会社日本プレイガイドに運営を委託し、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。